

令和4年度 施政方針

5つの「なばり新時代戦略」



なばり新時代戦略⑤ 確かな行財政運営で 名張を元気に



前例のない事にも柔軟に取り組もうと若手職員プロジェクトが始動(令和3年)

財政非常事態宣言は解除しましたが、市の財政状況が大きく好転しているわけではありません。市民の皆さんのニーズに対して、迅速かつ確実に対応できる組織作りを進めるなど、市民本位の施策を進められるよう、職員力と組織力の強化をより一層進めます。

令和4年度の主な取組

- ▶**持続可能な行財政運営**
人口減少が進む中、今後も行政サービスの最適化を行いながら、市民ニーズに的確に対応できる組織力を強化します。
- ▶**市立病院経営改善**
昨年12月に設置した「市立病院在り方検討委員会」でいただいた意見を踏まえ、「市立病院経営強化プラン」を策定し、持続可能な経営に向けての取組を進めます。
- ▶**新たな総合計画**
市民の皆さんや関係団体の皆さんと対話を重ねつつ、10年先を見据えた市政運営の指針となる総合計画を来年3月を目途に策定します。

職員の声 先行き不透明な時代に、柔軟な発想を
湯澤 杏奈(市役所 課税室職員/入庁3年目)



赤目滝や名張藤堂家邸跡に行ったことがない職員もたくさんいます。そこで、若手職員で構成するプロジェクトで、新規採用職員がまちを巡る「大人の遠足」を企画しました。コロナ禍など先行き不透明な時代だからこそ、前例のない事にも柔軟な発想で取り組んでいきたいです。

なばり新時代戦略④ 充実した医療・福祉・教育で 名張を元気に



子育てを地域で支える。子育てサロンきらきら広場(中央ゆめづくり館)

社会的孤立や生活困窮、ひきこもり、ヤングケアラーなど、社会的課題を抱える人を誰ひとり取り残さないよう、層の厚い支援を引き続き行います。また、名張版ネウボラのさらなる充実、中学校給食の早期実現に向けた取り組みなど、子育て支援も充実させます。

令和4年度の主な取組

- ▶**教育施策**
中学校給食実現に向けた検討や、トイレの洋式化を含めた教育環境の整備を進めます。また、名張版コミュニティ・スクール(※)を推進します。
北川市長は6月14日の市議会で、令和9年度中を目途に中学校給食を開始したい旨を表明。今後、整備手法などを検討しながら、実施に向けて取り組んでいきます。
- ▶**子育て支援**
- ▶**多文化共生** ▶**男女共同参画**
家庭、教育、働く場、地域などあらゆる分野で誰もが暮らしやすい社会の実現を進めます。
- ▶**地域共生社会** ▶**地域医療** ▶**健康づくり** ▶**障害者雇用** ▶**交通施策**

市民の声 動画ばかりじゃなくて、本の魅力を
久保田 瞳さん(美旗小学校創立150周年記念プロジェクトメンバー)

美旗小学校創立150周年プロジェクトで学校図書館の改修を計画。津高校へ視察に行くと、魅力的な図書展示もあって実に面白かった。動画ばかりみている子もいますが、通いたくなる充実した学校図書館で、もっと本の魅力に触れる機会を増やしてあげられるといいですね。



なばり新時代戦略③ 確実な危機管理で 名張を安全に



地域ぐるみで実施する市総合防災訓練。仮設ベッド作成など地域ごとに工夫

南海トラフ地震や多発する豪雨災害、災害時の感染症への対応力を高める必要があります。市総合防災訓練の実施や各地域での主体的な訓練実施など、「だれもが暮らしやすいまち」を目指し、市民の皆さんの防災意識を高め、防災知識の普及啓発に努めていきます。

令和4年度の主な取組

- ▶**防災・減災**
「名張かわまちづくり一体型浸水対策事業」などの事業を、地域住民の皆さんの協力をいただきながら、国などと連携して進めます。
- ▶**道路整備** ▶**通学路安全対策**
国道368号線の4車線化事業などをはじめとした円滑で安全な通行確保や、児童生徒の通学時の安全確保を進めます。
- ▶**消防・救急**
伊賀市との共同消防指令センターの整備に向けた取組など、隣接地域との柔軟な連携・協力体制の強化を進めます。
- ▶**環境対策** ▶**水道・下水道**

市民の声 「誰かがやってくれる」ではあかん!
井上 恵太さん(消防団に入団して2年目の学生)



災害や事故が起きた時に、率先して自分が行動する。そして、誰かを助けて支えたい。そんな思いで、消防団の活動をしています。「誰かが何とかするだろう」ではなく、支える側も支えられる側も、名張に住む一人ひとりが、「いざという時、自分に何ができるか」を普段から考えることができれば、災害時でも、慌てずに行動できると思います。

なばり新時代戦略② 新たなまちづくりで 名張を元気に



まちづくりのアイデアを地域住民へ提案発表する近大高専生

市民の皆さんとの対話や情報発信を基礎として、あらゆる市の課題が自分事として受け止められ、まちづくりへの参加意欲が高まれば、まちへの愛着や誇りが生まれていくものだと考えています。なかでも、若者のまちづくりへの参加を促し、「若者が定着するまち」を目指します。

令和4年度の主な取組

- ▶**シティプロモーション**
コロナ禍で地方回帰に関心が高まる中、市民一人ひとりに情報発信者となっていただくことで、効果的なシティプロモーションを展開します。
- ▶**移住対策** ▶**空き家対策**
きめ細やかな移住相談を行いながら、多彩な暮らし方の実現に向けた情報発信を行います。また、空き家利活用促進や、空き家リノベーション支援などにより、移住・定住に繋がる施策に取り組めます。
- ▶**生涯学習・文化振興** ▶**スポーツ振興**
近大高専と共同で町家の調査研究を行うなど、文化振興・施設の活用を促進します。また、テニスコートの改修などの設備整備を行います。

市民の声 若い世代もまちづくりに参加しようぜ
西井 孝太郎さん 隅野 匠さん 中西 春喜さん(近畿大学工業高等専門学校 学生)

宇流富志禰神社を訪れた人に、絵馬のように、風車へまちへの願いや思いを書いて飾ってもらう。そんな企画を神社へ持ち込み、実行に移しました。自分たちのアイデアが形となって、まちが元気になるのが最高ですね。若い世代の人も、積極的にまちづくりに参加していいのかなって思います。



関連記事▶P11

新型コロナ・物価高騰対策予算 ▶ 3億9,950万円

令和4年度6月補正予算(2号-4号) 問 地域活力創生室 ☎ 63-7782

新型コロナ対策に対応した主な事業

- 名張の観光地づくりを推進(2,403万円)**
新型コロナの影響を受けた市内の観光事業者などの施設や整備改修を支援(詳細は「広報なばり」8月号でお知らせ予定)
- 小中学校便所内手洗いの自動水栓化(2,619万円)**
小中学校 校舎・体育館の便所内手洗いを自動水栓化

原油価格・物価高騰に対応した主な事業

- 給食費の負担軽減(1,266万円)**
物価高騰などによる小学校児童の給食費の増額分の一部負担や保育園などの食費に必要負担を軽減
- 名張市子育て世帯生活応援給付金を支給(1億195万円)**
市独自に児童手当の対象となる世帯へ給付金を給付

※コミュニティ・スクール…子どもたちの豊かな成長のために、学校・地域・保護者が連携・協働し、それぞれが自分たちに何ができるか「自分ごと」として支えていく仕組み

政策的経費を盛り込んだ「肉付け予算」▶ 10億9,208万円

令和4年度6月補正予算(3号) 一般会計 問 財政経営室 ☎ 63-7403

- 緊急消防援助隊の活動拠点施設整備(4,733万円)**
消防庁舎屋外訓練場の舗装や資機材倉庫などの整備
- 市民テニスコート(全9面など)を改修(1億1,945万円)**
老朽化により大半が使用できなくなっていた中央公園(夏見)にある市民テニスコートを改修

- 中山間地域での新たな特産品の創出(500万円)**
ジン酒の風味付けなどに使われるジュニパーベリーを使った加工品などの利用可能性や栽培特性を探る調査
- 観光体験プログラムの創出(700万円)**
自然豊かで神秘的な赤目四十八滝溪谷で瞑想やヨガを体験できる体験プログラムづくり